

<2023年度 第2回 「食品保健指導士養成講習会」 オンデマンド配信>

講習期間 : 2023年11月24日(金) ~ 12月24日(日) ・ お申込み 11月15日まで

受講料 : 当協会会員 79,530円 / 一般 96,360円

プログラム・お申込み詳細 : <https://www.jhnfa.org/hoken-01.html>

【お問い合わせ】 研修企画部 E-mail : kensyu@jhnfa.org TEL.03-3268-3160

健康食品等に関する

日本語記事情報 (2023年11月号 No.1)

本文書では、インターネットの日本語記事情報から、(公財)日本健康・栄養食品協会 学術情報部が独自の視点で皆様の事業遂行に役立つと判断したものをご紹介します。

(例: 法令・行政情報、新製品・新分野の製品の企画開発及び研究開発のお役立ち情報、安全性確保の取組みに活用出来る情報、その他ビジネス環境変化に係る情報等)

なお、記事の内容の正確性を当協会が保証するものではありません。また、特定の企業、食品素材・成分、製品などの情報が含まれる場合においても、当協会が支援・推進・推奨するものではありません。

英文記事情報については別途お送りいたします。

○ 記事のカテゴリー (見出しをクリックすると該当カテゴリーに移動します)

[ピックアップ情報](#)

[安全性関連情報](#)

[表示、販売等に関する行政機関のアクション情報等](#)

[行政・法令関連情報 \(その他\)](#)

[海外公的機関情報](#)

[市場予測、動向 \(食品・健康食品全般\)](#)

[具体的健康ニーズ・素材・成分、製品情報 \(市場予測・動向等\)](#)

[市場・企業動向、注目ビジネス情報](#)

[消費者意識等の調査・分析](#)

[食品・食品成分の生理機能、健康関連科学情報](#)

[その他の食品関連科学・技術情報](#)

[その他の科学・技術情報](#)

[その他](#)

記事によっては短期間でリンク切れになるものがあります。その点ご了承ください。

○ 記事一覧

基本情報（記事見出し、出典・日付、URL）、冒頭文または記事のポイントとなる部分（民間の情報源には了承を得た上で転載）を表示しております。なお、基本情報のみで記事内容の把握が可能と思われる場合は基本情報のみとしております。

■ ピックアップ情報

これまでは、「注目情報」の見出しの下で紹介しておりましたが、今号より「ピックアップ情報」に変更いたしました。スルーして頂きたい記事情報を、編者の見識・感性（思い入れも少し）に基づきピックアップしてご紹介する場とご理解下さい。

「食品企業向け人権尊重の取組のための手引き（案）」についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2023/10/26

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003784&Mode=0>

食品企業向け人権尊重の取組のための手引き（案）

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000261759>

追記：欧米を中心とした人権尊重を重視する法規制の導入、欧米企業が自社のみならず直接・間接を問わず、取引企業に対しても人権尊重の取組を求められている動きが背景にあると思います。以下、手引（案）から抜粋。

食品企業を取り巻く環境～自社や下請先等労働者の人権尊重と調達先労働者の人権尊重、人権尊重の取組の取引条件化

- 食品企業において人権尊重の取組を進めるに際しては、大きく2つの視点があります。
- 一つは、自社やグループ会社、直接取引先における労働者の人権尊重です。例えば、安全衛生が不十分な労働環境、ハラスメント、非正規雇用労働者や外国人労働者に対する社内規定・制度等での差別、国内調達先での外国人技能実習生の人権侵害等が懸念されています。
- もう一つは、間接取引先における労働者の人権尊重です。例えば、海外の原材料生産地では児童労働や強制労働が発生している場合があり、こうした調達先から原材料を調達することによる人権侵害への間接的な関与が懸念されています。

- こうした状況の中、大手の食品企業では、調達先における人権尊重の取組状況について、アンケート調査や訪問監査で確認したり、取引の開始や継続に際して、調達先にも自社が定める人権尊重の取組方針を遵守するよう求めたりする動きが増えています。

消費財企業は、原料調達の上流部分の企業（間接取引先も含む）の問題活動（熱帯雨林の破壊、児童労働や低賃金等の労働問題、等々）にも注意を払う必要があります。こうした動きが海外記事で目に付くようになったのは10年以上前ですが、日本でも今後動きが加速化しそうです。

花王、ライオンなど7社がスクラム、人権DDを効率化へ

株式会社オルタナ/オルタナオンライン - 2023/10/25 <https://www.alterna.co.jp/104055/>

(無断転載を禁じます)

記事のポイント

1. 「化粧品&日用品業界のバイヤー会員 Sedex ワーキングチーム」が発足
2. 同じ業界で連携することで、効率的な人権DDを目指す
3. 花王、ライオン、ユニ・チャームなど7社が参加する

花王、「生物多様性の行動指針」を公開

花王株式会社 - 2023/10/31

<https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2023/20231031-001/>

花王株式会社（社長・長谷部佳宏）は、2023年10月31日、「生物多様性保全の行動指針」を改訂し、「生物多様性の行動指針」として公開しました。今後も、生物多様性の保全と回復、さらに自然を再生へと導く活動を、花王自ら積極的に行うとともに、生活者やビジネスパートナー、そして社会とも一緒に取り組んでまいります-----

「食」と「ウェルビーイング」の関係性を明らかにする世界初の研究調査「Recipes for Wellbeing Report」を発表

日清食品株式会社 - 2023/10/18 <https://www.nissin.com/jp/news/11980>

日清食品株式会社（社長:安藤 徳隆、以下 日清食品）と公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団（理事長:安藤 宏基、以下 安藤財団）は、米国の世論調査会社であるギャラップ（CEO:Jon Clifton）の協力のもと、「食」と「ウェルビーイング*」の関係性を世界で初めて明らかにした研究調査「Recipes for Wellbeing Report」（食とウェルビーイングの関係性レポート）を発表しました。

国の経済規模を測る指標として活用されてきた GDP (国内総生産) ですが、本当の豊かさ、不平等、持続可能性が評価できないといった指摘が存在しています。そこで近年は、GDP に代わる豊さの指標を構築しようとする考え方 (Beyond GDP) が広がっており、中でも心身だけでなく社会的にも良好な状態を表す概念である「ウェルビーイング」が注目を---

■ 安全性関連情報

以下、3件は2023年10月18日の食品安全情報 blog2 の中で目に付いたトピックスです。

<https://uneyama.hatenablog.com/entry/2023/10/18/174756>

[FSA]アクリルアミドとフランの英国小売における 2020-21 年の調査

上から 2 番目の太字見出し

[FSA]食品基準庁及び食品基準庁スコットランドは CBD の消費者への助言を更新

中ほどの太字見出し

-欧州の PFAS へのアプローチについての洞察

下の方の太字見出し「その他」の最初の見出し。飲料水の汚染で問題になっている PFOA や PFOS と違って環境汚染物質としてのリスクが低いものにまで、PFAS として広範囲に網をかけて禁止しようとする欧州での動きに対して批判的な内容になっています。

食品安全情報（化学物質）No. 22/ 2023（2023. 10. 25）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202322c.pdf>

今回は目に付いたのは次の見出しです。

【FSA】英国食品基準庁及びスコットランド食品基準庁は CBD の消費者への助言を更新

全リスト

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>

[記事のカテゴリーに戻る](#)

■ 海外公的機関情報

内分泌かく乱物質を含む製品の情報提供を義務付け（フランス）

日本貿易振興機構（ジェトロ） - 2023/10/26

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/10/b0b4d827c8c68ffd.html>

米カリフォルニア州知事、食品添加物 4 種の使用を禁止する法案に署名（米国）

日本貿易振興機構（ジェトロ） - 2023/10/31

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/10/8ad5915f55a51ad8.html>

以下の 3 件は、食品安全委員会 食品安全総合情報システム

(<https://www.fsc.go.jp/fsciis/>) の更新情報 (2023/10/18 確認) の中から、気になったものを選定しました。

[見出しのクリックで内容をご覧頂けます。](#)

18. [ドイツ連邦リスク評価研究所\(BfR\)、様々な種類の魚の摂取を介した PCDD/F、ダイオキシン様 PCB 及び PFAS へのばく露推定に関する意見書を公表](#)

26. [米国環境保護庁\(EPA\)、永久に残る化学物質から地域社会をより良く守るため、PFAS データの報告を義務付ける規則を最終決定](#)

48. [ドイツ連邦リスク評価研究所\(BfR\)は、特定穀類製品中の麦角アルカロイドによる健康リスク評価を公表](#)

[記事のカテゴリに戻る](#)

■ 表示、販売等に関する行政機関のアクション情報等

今回は特に見当たりませんでした。

■ 行政・法令関連情報（その他）

第 1 回「分かりやすい栄養成分表示の取組に関する検討会」の開催について

消費者庁 - 2023/10/26 <https://www.caa.go.jp/notice/entry/035031/>

追記：報道によると、加工食品の栄養成分表示について、商品パッケージの裏面ではなく表面に表示する方法を検討するとのこと。

第 108 回コーデックス連絡協議会(開催案内)

厚生労働省 - 2023/10/25 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35685.html

「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（清涼飲料水の規格基準の改正）に関する御意見の募集について寄せられた御意見について

e-Gov パブリック・コメント - 2023/10/18

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=495230080&Mode=1](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=495230080&Mode=1)

マーガリン類の日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2023/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003779&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003779&Mode=0)

チルドハンバーグステーキの日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003777&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003777&Mode=0)

食用精製加工油脂の日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003773&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003773&Mode=0)

チルドミートボールの日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003778&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003778&Mode=0)

風味調味料の日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003776&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003776&Mode=0)

精製ラードの日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2023/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003781&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003781&Mode=0)

ショートニングの日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003780&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003780&Mode=0)

ぶどう糖の日本農林規格の確認案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003782&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003782&Mode=0)

削りぶしの日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003772&Mode=0>

マカロニ類の日本農林規格の一部改正案についての意見・情報の募集について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/24

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550003771&Mode=0>

スポーツにおける使用を禁止すべき物質及び国際規約に違反する行為を定める省令の一部を改正する省令に関する意見募集の実施について

e-Gov パブリック・コメント - 2024/10/27

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=185001335&Mode=0>

■ 市場予測、動向（食品・健康食品全般）

海外の最新機能性素材トレンドから読み解く！ これから日本で最も注目すべき3つのテーマとは？

ウェルネス総研レポート online - 2023/10/24 <https://wellnesslab-report.jp/3017/>

2023年夏、世間は長かったマスク装着や行動制限からようやく解放されました。あれほど注目を集めた免疫系の健康食品やサプリメントはその勢いを失い、もはや機能性表示をまとっただけの製品は思うように売れ続けることができません。

多くの食品企業が頭を悩ませるなか、一般社団法人ウェルネス総合研究所は食品業界トレンドセミナー第2回として、「“海外の最新機能性素材トレンド” グローバルトレンドの変遷とマーケティング視点から読み解く、これからの日本での注目素材と可能性！」について、2023年9月20日（水）にセミナーを開催しました。本総研理事の藤田康人氏と武田猛氏によるセミナーと、2人のパネルディスカッションの内容をレポートし……

[記事のカテゴリーに戻る](#)

■ 具体的健康ニーズ・素材・成分、製品情報 (市場予測・動向等)

今回は特に見当たりませんでした。

■ 市場・企業動向、注目ビジネス情報

今回は特に見当たりませんでした。

■ 消費者意識等の調査・分析

外食に求める生活者の健康感とは？

ファストフード利用者に向けたスマートミールの可能性

ウェルネス総研オンライン - 2023/10/18 <https://wellnesslab-report.jp/2978/>

2023年9月1日(金)～3日(日)、「すべての人の幸福を目指した実践栄養学の発信ーソーシャルインクルージョンの実現に栄養学を取り入れるー」をテーマに第70回日本栄養改善学会学術総会が開催されました。その中で9月3日(日)に開かれたランチョンセミナー「外食に求める生活者の健康感とは？～ファストフード利用者に向けたスマートミールの可能性～」において、ウェルネス総研と吉野家ホールディングスが共同で行った「生活者と外食利用における関係性」に関する調査を発表-----

新しい考察を加えて、よりビジネスに活用しやすく「ウェルネストレンド白書 Vol.3」

ウェルネス総研オンライン - 2023/10/19 <https://wellnesslab-report.jp/2968/>

一般社団法人ウェルネス総合研究所は、20代～70代の生活者4,795名の健康・ウェルネスに関する意識と行動に基づき、今後予測されるヘルス・トレンドシナリオを洞察した調査レポート『ウェルネストレンド白書 Vol.3』を2023年10月2日に刊行しました。定点観測として7つの健康セグメントに沿った分析がさらに深められた一方で、今回新たに考察した「食事マネジメント」と「見た目(POA:ペース・オブ・エイジング)の向上」についても、大変興味深い調査結果が得られています。本調査の監修者であるグローバルニュートリショングループの武田猛氏に、今回の白書の注目ポイントと活用法についてうかがい-----

ネスレ ヘルスサイエンスが実施した、便秘患者に対する「食物繊維の高配合流動食」使用実態調査結果が「Clinical Nutrition Open Science」誌に掲載

ネスレ日本 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー - 2023/10/20

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000017.000123851.html>

ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー(本社：兵庫県神戸市、カンパニープレジデント：中島 昭広、以下「ネスレ ヘルスサイエンス」)が実施した、経腸栄養法による栄養療法を行う患者の便秘に対し、多種類の食物繊維を豊富に含有する流動食（以下、「食物繊維高配合流動食」）の使用実態調査について、横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学教室 主任教授 中島淳氏らが調査結果をまとめた論文が、2023年9月23日（土）に「Clinical Nutrition Open Science」誌のオンライン版に掲載され-----

【ネスレヘルスサイエンス プロテインに関する実態調査】プロテイン市場は次なるステージへと進化中！

首都圏に暮らす、プロテインサプリメントを利用する女性のデータから考察需要が高まる“オーガニックプロテイン”

ネスレ日本 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー - 2023/10/17

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000123851.html>

ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー（本社：兵庫県神戸市、カンパニープレジデント：中島昭広、以下「ネスレヘルスサイエンス」）は、2022年11月、首都圏在住のプロテインサプリメントを摂取する、25歳から54歳の女性1,161名に対し、プロテインに関する使用実態について、調査を行いました。

この調査をもとに、首都圏に住む女性のプロテインサプリメントの選択と摂取に対する意識、そして今後のプロテインサプリメントの需要について考察した結果、プロテインサプリメントを摂取する目的として、美肌や美髪などの美容面を目指す女性や、QOL（クオリティ・オブ・ライフ：暮らしの品質）を維持するための健康維持を目指す女性の意見が多く見られ-----

[記事のカテゴリーに戻る](#)

■ 食品・食品成分の生理機能、健康関連科学情報

高齢者で筋幹細胞が減少する機序の一端を解明、サルコペニア対策の手掛かりに—NCNP

QLifePro 医療ニュース - 2023/10/24

<https://www.qlifepro.com/news/20231024/muscle-precursor-cells.html>

▼関連リンク・国立精神・神経医療研究センター プレスリリース

<https://www.ncnp.go.jp/topics/2023/20231019p.html>

筋幹細胞の数が加齢でも「減少しにくい筋肉部位」に着目

国立精神・神経医療研究センター（NCNP）は10月19日、加齢と共に骨格筋の幹細胞数が減少するメカニズムの一端を解明し、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド（NAD⁺）の前駆体であるニコチンアミドモノヌクレオチド（NMN）投与によるミトコンドリア機能回復が筋幹細胞数の維持に貢献することを発見したと発表した。この研究は、同センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部の本橋紀夫室長、峰岸かつら室長、青木吉嗣部長の研究グループによるもの。研究成果は「Cell Death & Disease」に掲載され……

日常的なチーズの摂取が認知機能の高さと関わることで特定の地域在住の日本人高齢者を対象とした疫学研究により判明～7月18日 国際科学雑誌 Nutrients に論文掲載～

株式会社明治 - 2023/10/19

https://www.meiji.co.jp/corporate/pressrelease/2023/1019_01/index.html

株式会社 明治（代表取締役社長：松田 克也）、桜美林大学（学長：畑山 浩昭）および地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター（理事長：鳥羽 研二）の共同研究グループは、特定の地域に在住する高齢者を対象とした疫学研究により、チーズの摂取が認知機能の高さと関連することを明らかにしました。当研究成果は、2023年7月18日に、栄養学分野で評価の高い国際学術誌 Nutrients に掲載されました。（Kim et al. Nutrients, 2023, 15(14):3181. doi:10.3390/nu15143181.）

【名城大学】スイゼンジノリがつくる紫外線吸収物質を発見～天然由来の美容成分として化粧品分野への応用に期待～

大学プレスセンター - 2023/10/20 <https://www.u-presscenter.jp/article/post-51786.html>

名城大学（名古屋市天白区）大学院総合学術研究科の景山伯春教授（分子生物学）の研究チームは、生産開発科学研究所、神戸薬科大学およびチュラロンコン大学と協力して、スイゼンジノリがつくる新奇な紫外線吸収物質を発見しました。発見した物質「サクリピン」は、アンチエイジングに寄与する抗酸化活性・抗糖化活性を示し、細胞毒性も認められなかったため、天然由来の美容成分として応用可能です。研究成果は2023年10月20日に米国化学会が刊行する国際科学雑誌「Journal of Agricultural and Food Chemistry（電子版）」に掲載され……

ウェルナス、ナスの血圧改善・抗ストレスに関する特許が実施可能に

株式会社ウェルナス - 2023/10/25

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000062426.html>

「食」で未来の健康社会実現を目指す株式会社ウェルナス（所在地：東京都杉並区 / 代表取締役社長：小山正浩、以下、ウェルナス）は、野菜の「ナス」に多量に含まれる「コリンエステル」の研究を行っている信州大学発スタートアップです。2023年10月6日、ナス由来コリンエステルを有効成分とする血圧降下および抗ストレスのための食品およびその製造方法に関する国内出願特許が特許登録されました（特許第7362098号）。ウェルナスは、特許権利者（出願人）である信州大学から再実施権付通常独占実施権のライセンスを受け、ナスを原料とした血圧改善や抗ストレスサプリメントの事業を行う予定……

『バクチオール』『ナイアシンアミド』『ワレモコウ』による相乗的な皮膚の老化抑制効果を発見

株式会社ノエビアホールディングス - 2023/10/17

https://www.noevir.co.jp/new/ir_info/pdf/per54/231017.pdf

ノエビアグループは、しわをはじめとする皮膚の老化に関する研究により、次世代レチノールといわれているオランダビユ由来『バクチオール』に老化抑制の新たな作用メカニズムを発見しました。また、機能性タンパク質「TCF25」に老化抑制効果を新たに発見し、自社栽培『ワレモコウ』がその老化抑制タンパク質を増加させることを見出しました。新しい機能を導き出した『バクチオール』と『ワレモコウ』に加え、しわ・シミなどの有効成分である『ナイアシンアミド』を組み合わせることで、コラーゲン分解酵素を相乗的に減少させることを明らかにしました。『バクチオール』『ナイアシンアミド』『ワレモコウ』の組み合わせにより、しわの目立たない美しい肌へ導く効果が期待できます。

研究成果の一部は2023年9月9日～10日に開催された「日本生薬学会第69回年会」にて発表……

育毛効果成分をヒトiPS細胞による新手法で確認、ミルボンと大阪公立大学

大学ジャーナルオンライン - 2023/10/30 <https://univ-journal.jp/235316/>

株式会社ミルボンは、育毛成分の探索のため、ヒトiPS細胞を活用し、毛髪関連遺伝子の発現上昇を指標とした育毛研究を行い、効果成分を見出した。さらにこの成分は、大阪公立大学とミルボンの共同研究部門である『薬物生理動態共同研究部門』において、ヒト毛包組織にて毛髪の伸長を促進させることを確認……

失われたキューティクルの代わりに髪を守り続ける潤滑性と耐久性を両立するヘアケア新素材

花王株式会社 - 2023/10/26

<https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2023/20231026-002/>

花王株式会社（社長・長谷部佳宏）ヘアケア研究所・マテリアルサイエンス研究所・解析科学研究所は、洗髪などの物理的摩擦にも強いハイドロゲルの新素材を開発しました。現在トリートメントに応用しており、今後はより幅広いヘアケア商品の開発などに活用する予定です。

今回の研究成果は、第74回コロイドおよび界面化学討論会（2023年9月12～15日・長野県）と第71回レオロジー討論会（2023年10月19～20日・愛媛県）にて発表……

発汗時の汗腺収縮メカニズムの解明と新たな制汗成分を発見 大阪大学など

大学ジャーナルオンライン - 2023/10/31 <https://univ-journal.jp/235323/>

大阪大学大学院、長崎大学大学院、大阪公立大学大学院の研究グループは、ヒトが発汗する際に、どのような機構で汗腺の収縮が起こっているかを明らかにした。本研究結果はスペイン・バルセロナで2023年9月4日～7日に行われた国際学会（IFSCC2023）において、ポスター部門の最優秀賞を受賞……

人の細胞がコレステロールを処理する仕組みを解明 シンガポール佐伯准教授、内藤博士ら

ASEAN 科学技術ニュース - 2023/10/24

https://spap.ist.go.jp/asean/news/231004/topic_na_03.html

米麴の成分が心理身体的ストレスによる症状を軽減！ - 新大が解明

マイナビニュース - 2023/10/20

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20231020-2797611/>

以下の4件は、一般社団法人日本スポーツ栄養協会 公式情報サイト「スポーツ栄養 Web」掲載記事（2023年10月18日～31日）から選定したものです。

月経困難症の痛みをオメガ3サプリで軽減できるか？ 既報研究のメタ解析で有意な結果

<https://sndj-web.jp/news/002469.php> (2023/10/20)

女性の月経痛をオメガ3 (ω3) サプリメントによって軽減されるか否かを、システムレビューとメタ解析により検討した結果が報告された。300~1,800mg を2~3カ月摂取することの有用性が確認されたと-----

朝食を食べないと運動が楽しくなくなる可能性 思春期女子でのクロスオーバー試験

<https://sndj-web.jp/news/002473.php> (2023/10/24)

思春期の女子を対象に、朝食欠食による代謝や基質酸化などへの影響を検討した結果が英国から報告された。成人では知られている「セカンドミール効果」が思春期の女子にも存在し、朝食を欠食した場合は昼食後の糖代謝への負荷が高くなることが明らかになったという。また、朝食欠食によって、午後の身体活動の楽しみが低下する傾向も認められたとの---

eスポーツでも栄養は大事！ 認知パフォーマンスと栄養、身体活動、睡眠との関連が明らかに

<https://sndj-web.jp/news/002483.php> (2023/10/30)

eスポーツアスリートも、身体スポーツのアスリートと同様に、栄養が重要であることを示す研究結果が報告された。微量栄養素の摂取量や野菜摂取量と認知機能が正相関すること、タンパク質摂取量の多寡で二分すると認知機能に有意差があることなどが明らかに-----

BMIが高くない人のケトジェニック食は要注意？ LDL-Cが約500mg/dLまで上昇した症例報告

<https://sndj-web.jp/news/002488.php> (2023/10/31)

ケトジェニック食を始めたことが原因と推測される、LDL-コレステロールが500mg/dL近くまで上昇した患者の症例が報告された。著者によると、このような反応は体脂肪量の少ない人に起こりやすいと考えられ、「ケトジェニック食開始後は脂質関連指標のモニタリングが不可欠だ」と述べて-----

[記事のカテゴリー](#)に戻る

■ その他の食品関連科学・技術情報

今回は特に見当たりませんでした。

■ その他の科学・技術情報

関節の動きを解析する「歩行メカニクスモニタリング技術」を確立 スマホをお腹に抱えて8歩歩くだけで歩行の姿勢や癖を見える化

花王株式会社 - 2023/10/31

<https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2023/20231031-002/>

花王株式会社（社長・長谷部佳宏）パーソナルヘルスケア研究所は、国立研究開発法人産業技術総合研究所（理事長・石村和彦）との共同研究により、歩行時の骨盤の3軸加速度データから、骨盤や下肢関節の動きや姿勢を可視化し、スコア化する歩行メカニクスモニタリング技術を確立しました。さらに本技術を応用し、スマートフォンをお腹に抱えて8歩歩くだけで歩行の姿勢や癖を評価できる研究アプリ「Walk Coordinator」を開発しました。花王は、この技術を歩行機能が低下する原因を明らかにするツールとして研究開発に応用し、人々の心身の健康増進に貢献していきます。

今回の研究成果は、第10回日本予防理学療法学会学術大会（2023年10月28～29日・北海道）にて発表……

最も「かわいい」と思えるのは2つの対象につながりを感じるときと判明—阪大ほか

QlifePro 医療ニュース - 2023/10/20

<https://www qlifepro.com/news/20231020/cute-social-robots.html>

▼関連リンク・大阪大学 ResOU

https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2023/20231016_1

見た目以外でヒトに「かわいい」と感じてもらうために重要な要素は？

大阪大学は10月16日、見た目の似ている対象が複数存在するとき、その対象の間でつながりを感じられる状況において、より「かわいい」と感じられることを、写真および動画を用いて明らかにしたと発表した。この研究は、同大学院人間科学研究科の入野宏教授、ATRインタラクティブ科学研究所エージェントインタラクティブデザイン研究室の塩見昌裕室長らの共同研究グループによるもの。研究成果は、「PLOS ONE」オンラインに掲載され……

■ その他

「点と点を結ぶ」AIが描く食品・飲料業界の未来

マイナビニュース - 2023/10/30

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20231030-2806290/>

[記事のカテゴリに戻る](#)

- 内容についての問合せ先：学術情報部 E-mail：gakuj@jhnfa.org
- 配信元 公益財団法人日本健康・栄養食品協会 <https://www.jhnfa.org/>
渉外広報室 E-mail：shogaikouho@jhnfa.org
- 配信先の変更など 総務部 E-mail：kaiin@jhnfa.org

■ 学術誌「健康・栄養食品研究」論文募集のご案内

学術誌「健康・栄養食品研究」への投稿論文を随時募集しております。

当協会の学術誌「健康・栄養食品研究」は、健康食品に関するオープンアクセスオンラインジャーナルです。ヒト試験（介入試験等）以外の論文、研究会の報告、総説なども投稿できます。また、英文での投稿も受け付けております。

最新刊：<http://jhnfa.jp/> [投稿規定などはこちら](#)

投稿先・問合せ先：学術情報部 E-mail：gakuj@jhnfa.org 電話番号：03-3268-3133

■ 「健康・栄養食品研究」掲載論文の転載をご希望の方へ

当協会指定の書式に必要事項を記入して、申請頂く必要がございます（料金はかかりません）。なお、販促資料への利用等の商業利用の場合は、申請の条件として「執筆者（又は資金提供者）への内容提示と了解取付」、「転載内容が分かる関連資料の提出」をお願いしております。申請書が必要な方は、学術情報部までご連絡下さい。

問合せ先：学術情報部

E-mail：gakuj@jhnfa.org

電話番号：03-3268-3133

以上